

【部活】チアリーディングによる障害（11例）

日本スポーツ振興センターデータベース

西暦	記号	死亡・障害	死亡障害種	学校種	被災学年	性別	場合1	場合2	競技種目	発生状況
1	2010	22障390	障害	視力・眼球運動障害	高	2女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部での練習中、本生徒がピラミッド形の下部にいて、上部から降りてくる生徒を支えようとした際、上部から降りてきた生徒の肘が本生徒の左眼に当たる。
2	2013	25障327	障害	精神・神経障害	高	1女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部の練習中、スタントの練習で、3段目から後ろ向きに下りたときに、キャッチが低く、支える人の首にぶら下がるような形になり、左腕がけいれんし、しびれを感じた。
3	2013	25障328	障害	歯牙障害	高	2女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部の練習中、スタントの練習で、1段目の肩の上に2段目の人が乗り、もう1組の2段目との間で3段目を支える練習で、横向きに降りてくる3段目の生徒を3人で受け止めるときに、3段目の生徒の肘が前歯に当たった。
4	2013	25障329	障害	外貌・露出部分の醜状障害	高	3女	課外指導	体育的部活動	その他	運動会の昼休みでチアリーディングの演技中、スタントのヒールストレッチという形で、トップに乗っていた生徒がバランスを崩したが、二回転して降りられると判断して飛び出した。しかし、回転が不足し、下で待っていた本生徒は正常な形で降りてこない生徒をキャッチできず、お互いの顔面で衝突した。
5	2014	26障245	障害	外貌・露出部分の醜状障害	高	3女	学校行事	運動会・体育祭	その他	運動会でのチアリーディング演技中、バランスを崩したが二回転して降りられると判断して飛び出し、下でキャッチしたメンバーと頭部同士で衝突した。
6	2015	27障378	障害	せき柱障害	高	1女	課外指導	体育的部活動	その他	大学の体育館にてチアリーディング部の合同強化練習会に参加中、スタントの練習をしていたところ、バランスを崩して3段目から落下し、腰部を床に打って痛めた。
7	2015	27障382	障害	精神・神経障害	高	2女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部で、スタントのトップとしての難度の高い技を練習していた。4m程の高さに飛ばされ回転してマットの上に着地する際に、マットの移動が間に合わず床の上に腰から落ち、頭部及び全身を強打した。
8	2015	27障384	障害	精神・神経障害	高	3女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部での練習中、ロンダートからバック転をする際、ロンダートが曲がってしまい、バック転着地時に右腕をひねり、右肘を脱臼した。
9	2017	29障345	障害	視力・眼球運動障害	高	1女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部活動中に、学校の体育館でトス練習をしていたとき、バランスを崩し倒れたトップの生徒の右膝が土台となるベースの本生徒の左眼に激突した。
10	2017	29障346	障害	歯牙障害	高	3女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部の練習中、技の一環で空中に飛んだトップポジションの生徒を地上で受け止めようとした際、頭が本生徒の口に当たり上顎の前歯が折れ出血した。
11	2019	2019障322	障害	精神・神経障害	高	1女	課外指導	体育的部活動	その他	チアリーディング部の練習中、体育館のロビーで前方宙返りを練習していた際、回転不足から肩甲骨辺りからマットに落下した。脊髄損傷、胸椎脱臼骨折を負い、両下肢に麻痺が残存した。

指導者不在で宙返り、下半身まひに 元チア部員が提訴

朝日新聞デジタル

2021/4/19

岡崎城西高校（愛知県岡崎市）でチアリーディング部の練習中に下半身まひの大けがを負ったのは、安全対策が不十分だったためとして、今春卒業した元女子生徒（18）が同校を運営する学校法人安城学園を相手取り、約1億8千万円の損害賠償を求める訴訟を名古屋地裁に起こした。

訴状によると、元生徒は1年生だった2018年7月、他の部員2人の肩に乗り、前方宙返りをしながら飛び降りる技の練習中、マットに首や肩甲骨付近から落下。下半身まひの後遺症が残った。事故時、顧問教諭やコーチはおらず、元生徒は入部4カ月で技の習得が不十分な中、補助者を付けずに練習していたという。

顧問教諭は具体的な技術指導や安全指導をコーチに一任、非常勤講師であるコーチは「自身は責任者ではない」との認識だったという。元生徒側は「責任者不在の状態だった」と訴えている。

元生徒の両親は「学校側が事故の重大さを理解しているか疑問。私たちや事故に向き合って裁判に臨んでほしい」とコメント。安城学園の担当者は取材に「事故の責任を痛感し、反省している。誠実に対応し、地裁の判定が出れば従う」と話した。

<https://www.asahi.com/articles/ASP4M5HDBP4M01PE00H.html>